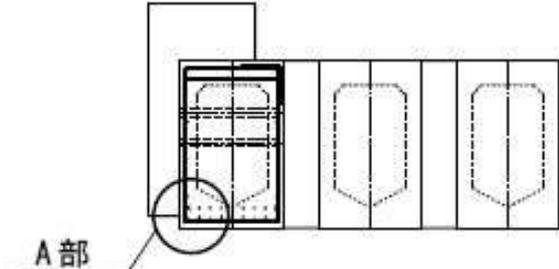


		【修正日】平成30年 1月31日
【大分類】設計一般	【小分類】桁橋	【作成日】平成20年 4月 1日
<p>【Q-3】</p> <p>道路橋示方書Ⅲ5.2.3によれば、工場製作のプレキャスト部材の最小かぶりは25mmとしているが、JISのスラブげたにおける支点横桁部分で、鉄筋のかぶりが確保できていない部分がある。この対策はどうすればよいか。</p>		

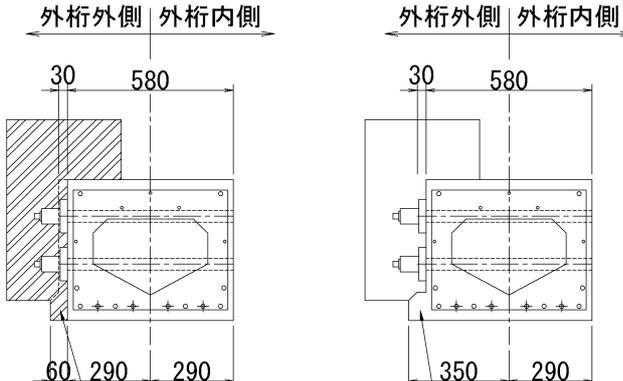
【キーワード】 JISスラブげた, 最小かぶり, 支点横桁

【A-3】

プレテンションスラブげた橋の充実断面(PC鋼材12.7mm)、中空断面(PC鋼材15.2mm)とも、外桁外側を中桁と同じように下フランジを切り欠き、下図のように桁下端から70mmの高さに水切りを設けた場合、A部においてPC鋼材のかぶりは確保できているが、鉄筋のかぶりは確保されていない。



よって、外桁外側の桁端部の下フランジ切欠き区間は、地覆コンクリートを桁下面まで打ち下ろすか、中間横桁と同様な形状として鉄筋のかぶりを確保する。



外桁外側 | 外桁内側 外桁外側 | 外桁内側

30 580 30 580

60 290 290 350 290

地覆コンクリート施工時に主桁下面までコンクリートを打ち下ろす場合

中間横桁と同様な形状とし、下フランジを設ける場合

【参考文献】
道路橋用橋げた 設計・製造便覧(通常橋げた):(社)プレストレスト・コンクリート建設業協会(平成16年6月)